

○ 第1部 市政報告	
(1) 市長からの市政報告	
1. バイオマス産業都市構想 2. 女性と子どもが住みやすいまちづくり 3. 駅周辺にぎわい創造 ・弘法山公園利活用方針に基づく整備 ・震生湖太鼓橋の架け替え ・頭高山の里山林整備、植樹祭 4. はだのスポーツビレッジ構想 5. 電子地域通貨 6. 緑水庵の駐車場と多目的広場の整備 7. 羽根森林資源活用拠点(仮称) 8. 戸川土地区画整理組合への支援、菩提横野線、矢坪沢水路整備 9. デジタル化の推進 ・マイナンバーカード ・本市の学校教育での「デジタルな学び」 10. プラスチック一括回収について ※詳細は別途資料参照	市長
○ 第2部 市政全般について	
(要望) ・道路上の横断歩道手前のひし形の標示でだいぶ薄いところがある。標示が見えにくいので、初めて通る方は横断歩道があることが分からない場合があるので、通学路に限ってでもかまわないので整備していただきたい。	落合原自治会
(回答) ・横断歩道手前のひし形の標示については、横断歩道の所管している警察が管理している。 ・警察では、直線で、ある程度手前から横断歩道がわかるようなところは、ひし形の標示は廃止する方向であると聞いている。 ・カーブがあり、先に横断歩道があることが分かりにくいようなところは、ひし形のマークを残して、運転者の方に知らせることは、今後とも必要だと思うので、具体的な場所を教えていただければ、市から警察に話を伝える。	建設部長 くらし安心 部長

(提案)○蓑毛「緑水庵」多目的広場への東屋新設について

・秦野市において地域活動の拠点と位置付け、緑水庵の整備として南側空地を取得し、駐車場及び多目的広場の新設を本年度秋、竣工として計画されている。本施設完成後、多目的広場への東屋新設により、次のとおり費用対効果を得られると判断し、新設を提案したい。

目的

・現在、「淡墨桜鑑賞会」等のイベント期間を除き、来場者の滞在時間が10分程度である。古き良きものに接し、先人や幼少期を思い懐かしむ等、時間的ゆとりを得る環境整備をする。

・来場者の大半が少数グループの高齢者である。疲れを癒す、くつろぐ施設の提供により、心身の健康の促進を図る。日差しを遮ってくれる屋根の下で、緑・香り・風や鳥のさえずり等を感じ、読書・ティータイム・談笑等を楽しむ「ゆとり」空間の提供からデトックス効果を高める。

・周辺整備に調和する施設としての方向から、東屋はコンパクトで安価なものでよい。

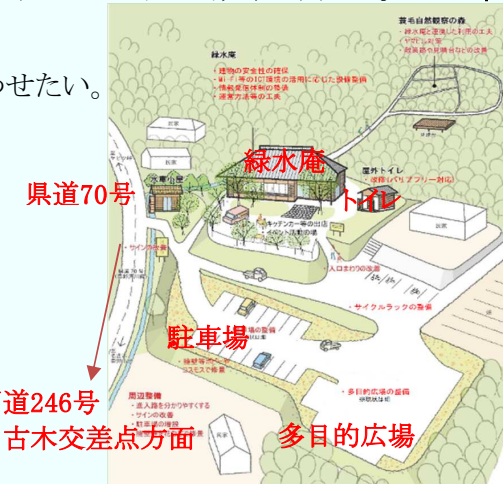
新設時期等

・駐車場・多目的広場の竣工が本年10月頃との計画から、11月頃とし、「紅葉狩り」のライトアップに合わせたい。

・コストや管理の面から東屋新設が望ましいと考える。



多目的広場部分



蓑毛自治会
連合会

(回答)

・緑水庵は表丹沢の魅力づくりを進める中で重要な拠点として捉えており、令和9年度に予定されている新東名高速道路の全線開通を見据えながら少しずつ整備を進めている。

・昨年度、駐車場用の土地を購入し、現在整備中である。県道に近い方を駐車場とし、奥に多目的広場としたのは、一般車両だけでなく、観光バスも入れるように整備をしていることによる。

・まずは、駐車場の整備をし、来年度以降にトイレや建物の改修を進め、その状況を見ても、多目的広場に東屋のようなものが必要だとの御意見があれば、検討をしていきたい。

・緑水庵の建物も大きな改修ではないが、老朽化が進んでいるため、今後、壁などの改修を行う予定である。

環境産業部
長

(要望)

- ・蓑毛橋上流は、アシが繁茂し河床は見えないし、竹が自生して竹藪になっており、その竹が倒れているような状況である。
- ・蓑毛橋下流は、河床、護岸の一定の整備は行われており、近隣住民による草刈等が実施されている。
- ・蓑毛橋上流は土砂災害特別警戒区域に指定されており、蓑毛バス停付近を一時避難場所としていたが、防災備蓄倉庫と一時避難場所を別の場所に変更した。
- ・蓑毛橋上流は、過去には助成を受けて、蓑毛清友会が河川の草刈を実施していたが、その後は高齢化が進み、10年、20年は繁茂している状態が続いている。
- ・近隣住民から、大雨の時に上流から石が流れてきてゴロゴロ音がしているというような話も出ている。
- ・景観的にも問題があり、年に1、2回はアシの草刈や竹藪の整備をしていただき、河床が見えるような状態にしていきたい。



蓑毛橋上流

蓑毛自治会
連合会

(回答)

- ・竹藪や雑草の繁茂は川の流れを阻害するものであるため、神奈川県と状況把握を行い、優先順位をつけながら、対応を検討させていただきたい。

建設部長

寺山自治会
連合会

（要望）

- ・寺山地区「波多野城址」については、平安時代末期から鎌倉時代初期にかけて成長した領主、波多野（はだの）氏の居館として古くから言い伝えられており、地域の伝承地としてきた。しかし文化財として認められていないことから定期的な整備予算はついていない。そんなことから農道から入口までの道と城址の草刈は寺山長寿会が行っているが、メンバーは年齢を重ねてきていることから悲鳴の声も聞こえ始めている。
- ・昨年、地域の声もあり、観光振興課によって竹垣とベンチが新調され、枯れたマキの木も根は残っているものの伐採して頂き、平安時代からの伝承地に相応しい姿を取り戻しつつある
- ・東小や東中の校歌にも波多野城址が使われており、詞に相応しい状態を維持し、また、館跡の確証を得ることはなかったが『新編相模国風土記稿』にもその記述があり、遠く富士山を望むその立地は、波多野一族が活躍していた頃と変わらない。地域の方やハイカーの皆さんが、「彼らもここから富士山を眺めた」と思える城址を維持したい。
- ・具体的には、マキの木の伐根、老朽化したフェンスの張替え、城址までの路面整備をお願いしたい。



波多野城址



マキの木



老朽化したフェン



城址までの路面整備

（回答）

- ・現地を確認し、地域の皆様の意見も改めて聞かせていただき、今後の対応について検討していきたい。

政策部長

(提案)

- ・田原ふるさと公園(東田原)に大規模災害時に転用可能な広場の整備をしたらどうか。
- ・耕作放棄地も出始め、ふるさと公園の風景が失われるのではと危惧している。周辺の土地をお持ちの方の中には、市になら寄附をしてもいいと言われた。市としても土地を確保していただきたい。
- ・発災後に田原ふるさと公園を東、西田原の住民の一時避難場所、テント場、災害救援隊のヘリポート・駐屯基地、災害ごみの仮置き場、仮設住宅の設置等の可能性もあるのではないかな。
- ・東田原、西田原地区は避難所である小中学校に向かう途中に、金目川に架かる橋があるため、橋が崩落し、行けない可能性がある。
- ・まずは市が方針を打ち出し、広場整備に御協力いただいた方には相応のメリットをお願いしたい。また、周辺道路が狭いので拡幅していただきたい。



ふるさと伝承館

東田原自治
会連合会

(回答)

- ・田原ふるさと公園の中丸広場については、以前に地権者様に対し、土地売却の御意向を確認したことはあるが、うまくまとまらなかったという経緯があり、多くは借地となっている。市の予算状況もあるが、市の土地とした方が安定的に管理できるという面もあるので、地権者様には今後機会を見て御意向を聞いていきたい。
- ・御寄附というような土地の話もあったが、農地法の制限などがなければ駐車場用地にも使えたりするため、具体的な場所などを伺いながら土地利用を検討したい。
- ・防災広場の活用方法を提案いただいた。広場を防災用に活用する場合には、自治体の定める地域防災計画に位置付けることになる。まずは現地を確認し、地域の皆様と話し合いながら検討をしていきたい。
- ・金目川に架かる橋、金目川橋については、令和2年頃に耐震化補強工事を実施しており、国の示す耐震基準を有しているので、崩落の危険性は低いと考えている。
- ・周辺道路については、災害時と公園利用の必要性とどちらがメインになるのか、庁内関係部署と連携しながら検討していきたい。

環境産業部
長
くらし安心
部長
建設部長

	(お礼・要望) ・6月の大雨での自治会内の土砂の片付けについて、対応していただいた職員には、自治会会員からも感謝の言葉が届いている。くらし安心部長にも現地に来ていただき、感謝申し上げます。 ・JTたばこ産業研究所跡地の開発については、リセットされたので、今後の開発条件提示の際には、東地区の玄関口でもあるので、サイクリング愛好者の休憩所や地区の避難場所、防災倉庫などの要望を地権者に伝えていただきたい。	小金沢自治会
--	--	--------